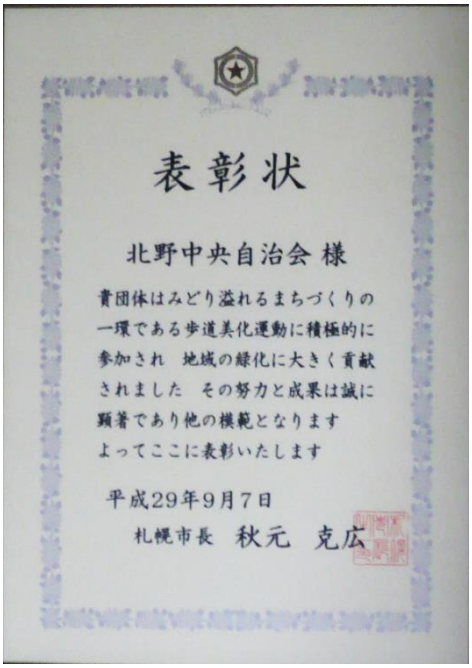
さわやか青空便 北野中央自治会

第 28 号
平成 29 年 10 月
会長　岡本　諒

北野通ります花壇　優良製作者として表彰される


表彰状

北野中央自治会 様

貴団体はみどり溢れるまちづくりの一環である歩道美化運動に積極的に参加され　地域の緑化に大きく貢献されました　その努力と成果は誠に顕著であり他の模範となります
よってここに表彰いたします

平成29年9月7日
札幌市長　秋元　克広

札幌市では昭和５２年度から、一年草などの花苗を地域に支給し、町内会や市民団体など地域住民の手で「街路樹ます」や「植樹帯」などの花壇制作が行われています。

この歩道美化運動により、地域の環境美化や道路景観の向上を図ってきました。

毎年この歩道美化運動のうちで優良なものについて『優良製作者』として表彰を行っています。

今年のます花壇制作団体は札幌市全体で 1076 団体あり、清田区は 86 団体で実施しています。

表彰の審査方法は、「花壇制作に対する熱意」、「日常の管理」、「デザイン」、「生育状況など」を総合的に判断し、各区からの推薦に基づき受賞者を決定します。

本年度、第 41 回ます花壇優良製作者表彰式は、平成 29 年 9 月 7 日ホテルノースシティで行われ、町内会(自治会)、小学校など 12 団体が表彰され、清田区からは北野中央自治会が表彰されました。(副賞：秋植え球根 4 種)

私たち北野中央自治会のます花壇制作は、平成８年に町連から自治会に移管されました。

5 月の花壇掘起し作業から始まり、6 月の花苗移植、以後毎月第 4 土曜日の雑草取り等花壇管理は、多くの会員の皆様の参加で花壇が整備されております。

会員の高齢化も進み、花壇掘起し作業も厳しい状況であり、今年は札幌市のサポート基金に応募し、総会で 40 周年記念事業として承認をいただき「耕うん機」を購入させていただきました。

花壇に咲く「チューリップ」や「マリーゴールド」の花は北野通を通う小学生や中学生、朝夕の通勤ラッシュ時のドライバーの気持ちを和ませる効果が大きいと思います。

一昨年は「清田区花壇写真コンテスト」で北野通の花壇の写真が、審査員特別賞（シンプルイズビューティフル賞）を受賞しております。

今回の受賞はそういった会員の皆様の「優しさ」や「努力」が評価されたものと思っております。

ただ、このところ参加者が少なくなっており、一部の方に負担がかかっておりますので、時間に余裕のある方は是非ご協力をお願いいたします。

災害時の避難所運営講習会の開催

当自治会では、災害に強いまちづくりを目指し、これまでに救助、応急処置や消火などの防災訓練、災害に遭った時どのように行動すべきかなどの簡易型災害図上訓練（ＤＩＧ）を行ってきました。

今年は、昨年に引き続き、災害発生後に避難所の運営をどのようにすべきなのかという避難所運営の図上訓練（ＨＵＧ）を９月 23 日（土）北野連合会館にて実施しました。

講師には北海道地域防災マスターで防災士の時本榮二氏、また、清田区から保健福祉部と市民部から２名の担当の方が出席、講習会の準備をしていただきました。

最初にＤＶＤによる放映があり、その中で特に、これまで避難所運営に関して女性への視点が欠けていたこと、また女性の力が必要であることを学びました。

続いて、ＨＵＧのやり方の説明があり、参加者 31 名が５グループに別れ、リーダーと記録係を選出し、ゲームを開始しました。

講師からは重要なポイントとして、①空間づくり（男女別）②組織づくり（女性を入れる）③ルールづくり（特定の人に負担をかけない）が示されました。

ゲームは、避難場所となる北野平小学校の平面図上で、様々な事情を抱えて次々と避難してくる人たちをどのように判断し、収容するかをカードや付箋を使って表示する方法で行われました

判断が難しいものとして、ペット、障がい者、車、乳幼児など限られた空間と条件の中だけに、頭を悩ませました。

災害の想定内容

１月 10 日午前 11 時 30 分　札幌市で内陸直下型の震震度７の巨大地震発生、避難場所は「北野平小学校」（建物の耐震化が完了しており被害なし）積雪 20ｃｍ、外気温氷点下５度、電気、水道等のライフラインは使えない。避難者は４地域。

最後に、参加者からは　①北野平小学校の収容人員は 394 名とのことでとても足りないのではないか。②迅速かつ適正に避難所運営をするには、普段から学校施設の状況をよく把握しておく必要があるのではないか。③避難してくる人はそれぞれ様々な事情を抱えており、その程度や内容をどのように判断してよいのか④被災し、避難してくる人を受け入れる段階が一番重要であり、ここでリーダーシップを発揮できる人が少しでも早く避難場所に来るようにしておくにはどうすべきか、など感想が出されました。

今回、一人でも多くの会員の皆さんに参加していただきたいとの思いから、個別にご案内させていただきましたが、まだまだ、関心が低いようです。

次回は、特に女性や若い世代の参加を願っています。

パークゴルフ大会は延期して開催

9 月 24 日（日）に予定されていたパークゴルフ大会は、前日の豪雨により会場の厚別川緑地パークゴルフ場では、スタート台が流されるなどの被害があり、延期されました。

10 月 1 日（日）、会場のまがもコースは、少し風が強かったもののプレーには絶好の条件に恵まれ、20 名が参加、5 組に分かれ行われました。

男子は、1 位から 3 位までは 1 打差という大接戦。年齢差で優勝は宇加江さん、準優勝は坪田さんとなりました。女子は和佐田さんが貫録の優勝でした。

大会成績　　（敬称略）			
男子の部		女子の部	
優　勝	宇加江和夫	優　勝	和佐田節子
準優勝	坪田　敏邦	準優勝	由利　啓子
3　位	上田　正三	3　位	宇加江繁子

敬老お祝い品の贈呈

今年も 9 月 18 日の「敬老の日」を迎え、町内にお住いのご長寿の中から、喜寿（満年齢で七十七歳）になられた方 12 名（男性 6 名、女性 6 名）と米寿（満年齢で八十八歳）になられた方 5 名（男性 1 名、女性 4 名）、計 17 名の方に記念品を贈呈し、お祝いを申し上げました。

皆様、今後とも、お元気でお過ごしくださるよう願いますとともに、自治会活動にご参加いただき、また、ご助言を頂ければ幸いです。

会員の皆様にお知らせ

○ 後日、回覧でお願いいたしますが、10 月 21 日（土）9 時から**資源回収（衣類限定）**を考えております。

タンスなどに眠っている不用になった「衣類」を整理して頂き、提供して頂ければと思っております。

○ 今年も**「1 円玉募金運動」**を 10 月に実施いたしますので、皆様の温かいご支援・ご協力をよろしくお願いします。

なお、集金は各班長さんからご案内しますので対応方よろしくお願いいたします。

○ 災害情報につきましては、自治体が配信する「緊急速報」（エアメール）、国が配信する「全国瞬時警報システム」（Ｊアラート）などがありますが、札幌市独自の**防災アプリ【そなえ】が 9 月 29 日から配信**されることになりました。

災害時に緊急情報として洪水や土砂崩れ、避難場所などをスマートフォやタブレット端末向けに配信されます。

役員一同

活動紹介

まちづくりセンターをご存知ですか？

～地域で最も身近な行政機関～

北野まちづくりセンター
所長　藍原　満

北野中央自治会の皆様こんにちは。

北野まちづくりセンターの藍原と申します。いつも大変お世話になりありがとうございます。

早速ですが、皆様は「北野まちづくりセンター」をご存知でしょうか？

北野まちづくりセンターは、清田区役所の出先機関として、地域の皆様にわかりやすく情報を提供し、地域の皆様の声を市政につなぐ、最も身近な行政機関です。

当センターは、北野連合会館に併設されているので、会館の利用受付をはじめとする会館の管理・運営が主な業務と思われている方もいらっしゃるかもしれませんが、印鑑登録証明や住民票の写しなどの各種証明発行の取り次ぎや、ボランティア袋の交付などの行政サービスの提供を行っています。

各種証明書は、当日の発行ができないなどの制約がありますが、是非、ご利用になってください。

「まちづくりセンター」という名称は、平成１６年に変更されたもので、それ以前は、「連絡所」という名称でした。「まちづくりセンター」という名称に馴染みがない方でも、「連絡所」という名称は耳にしたことがある方はいらっしゃるのではないでしょうか。

連絡所の時代からも、地域住民の皆様の活動の振興や、各種要望集約の窓口としての役割を担ってまいりましたが、それらの機能をより一層充実させ、地域のまちづくりの拠点とするため、現在の名称となりました。

札幌市内に８７箇所、清田区内に５箇所のセンターがあり、概ね１町内会連合会の区域に１箇所配置することが基準となっており、当センターは、北野地区町内会連合会の区域が所管区域となります。

こちらに勤務して約１年半が経ちましたが、北野地区は、福祉、子育て、環境、防犯、防災などのさまざまな分野で数多くの取り組みが活発に行われており、心のこもった活動が本当にたくさんあると実感しています。

ここ北野地区が、より一層安全で安心して、明るく、楽しく、元気で暮らせる住み良い街となるよう、センター職員一丸となって地域の皆様とともに取り組んでまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

当センターには、土・日曜日、祝日を除き、午前８時４５分から午後５時１５分まで職員がおりますので、お越しの際は、お気軽に声を掛けてください。

第 28 号編集者　広報部　荒木貞一